

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 27 年 11 月 12 日 (2015.11.12)

【公表番号】特表 2015-510227 (P2015-510227A)

【公表日】平成 27 年 4 月 2 日 (2015.4.2)

【年通号数】公開・登録公報 2015-022

【出願番号】特願 2014-554842 (P2014-554842)

【国際特許分類】

H 0 1 R 13/74 (2006.01)

H 0 1 R 13/46 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 13/74 D

H 0 1 R 13/46 B

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 9 月 24 日 (2015.9.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 9】

ヒンジラッチ 2 9 0 は、キャップ T P A 装置 1 2 0 をキャップ端子台 1 1 8 から結合解除するために戻り止め 2 7 6 から解放されるように、例えば、キャップ T P A 装置 1 2 0 を後方位置即ちロック位置から前方位置に移動させたり、キャップ T P A 装置 1 2 0 をキャップ端子台 1 1 8 から完全に取り外させたりするように構成される。支持壁 1 5 6 (図 2 (b) に示す) は、キャップ T P A 装置 1 2 0 がキャップ端子台 1 1 8 から結合解除され、前方位置即ち非阻止位置に移動されたり、キャップ端子台 1 1 8 から完全に取り外されたりする時に、阻止位置から移動する。非阻止位置即ち前方位置では、キャップ端子台 1 1 8 のラッチ 1 5 8 (図 2 (b) に示す) は、キャップ端子チャネル 1 5 4 (図 2 (b) に示す) からキャップ端子を取り外すために解除されることができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 2】

キャップ T P A 装置 1 2 0 は、キャップ端子台 1 1 8 (図 2 (b) に示す) に完全に結合され、キャップハウジング 1 1 0 に収容されている。ワイヤカバー 1 1 2 は、キャップハウジング 1 1 0 に結合されている。取付クリップ 1 1 4 は、キャップコネクタ 1 0 4 をパネル 1 0 2 に固定するようにロックされている。同様に、プラグ P T A 装置 1 4 0 は、プラグ端子台 1 3 8 (図 2 (a) に示す) に結合された状態で示されている。プラグ T P A 装置 1 4 0 は、キャップ T P A 装置 1 2 0 と同様の方法によってプラグ端子台 1 3 8 に固定されてもよい。例えば、プラグ T P A 装置 1 4 0 は、プラグ端子台 1 3 8 から延出する戻り止め固定されるヒンジラッチを含んでもよい。ワイヤカバー 1 3 2 は、プラグハウジング 1 3 0 に結合されている。